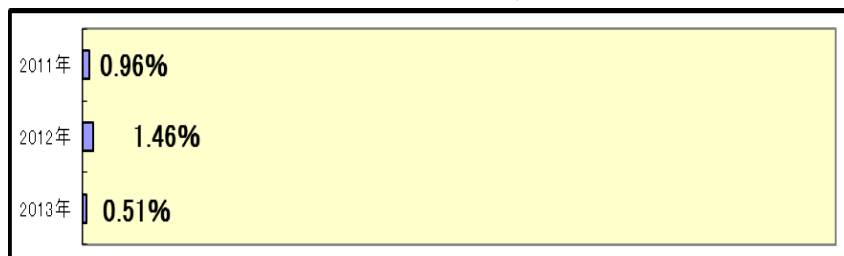


診療情報管理委員会ニュース

(2011年～2013年：臨床指標結果報告)

VOL. 6 2014年9月 診療情報管理委員会

新規褥瘡発生率



分子：入院後に新規に発生した褥瘡の数(別部位は1として計測)

分母：調査月の新入院患者数+前月最終日在院患者数(24時現在)

※全日本民医連QI推進事業より

<指標の意義>

○褥瘡予防対策は、提供されるべき医療の重要な項目であり
栄養管理・ケアの質評価に関わる指標。

○褥瘡アセスメント、予防アプローチの組織化の促進。

<皮膚・排泄ケア認定看護師より考察>

○昨年増加傾向と思われていた褥瘡報告数の背景には、褥瘡以外の創傷報告が多いことが明らかとなった。スタッフレベルの力量を上げていくための教育として2013年度より床ずれマイスター制度を発足し、今年1期生が誕生した。次年度は、褥瘡以外の報告内容を分析し、報告が多い創傷に対しては、教育を実施していく。

○院内発生においては、いかに早く見つけ治癒、予防ケアにつなげるか、持込み褥瘡に関しては、在宅や施設との連携を図りながら、短期的に集中的な褥瘡ケアやOPなども積極的に実施できるよう調整を図っていきたいと考える。

【他施設改善例紹介】

- ・褥瘡対策チームの回診を毎週実施
- ・褥瘡マットや体圧分散マットレス等の設備整理
- ・入院時チェックリスト内へ「褥瘡マットの検討」項目の追加し設備の有効活用の検討

等

